

データマーケティングを
もっとスマートに

 **b→dash**

機能紹介

LINE連携

データマーケティングツール
業界シェア No.1





LINE連携

顧客の属性や行動にあわせて
コンテンツの出し分けを**自動化**し、
One to Oneアプローチを実現



b→dash で提供するアプリケーション

データパレット
(CDP)



メール/MA



Push通知



LINE連携



SMS配信



BI



web接客



レコメンド



CMS



カスタマー
ウォッチ



b→dash で提供するアプリケーション

データパレット
(CDP)



メール/MA



Push通知



LINE連携



SMS配信



BI



web接客



レコメンド



CMS

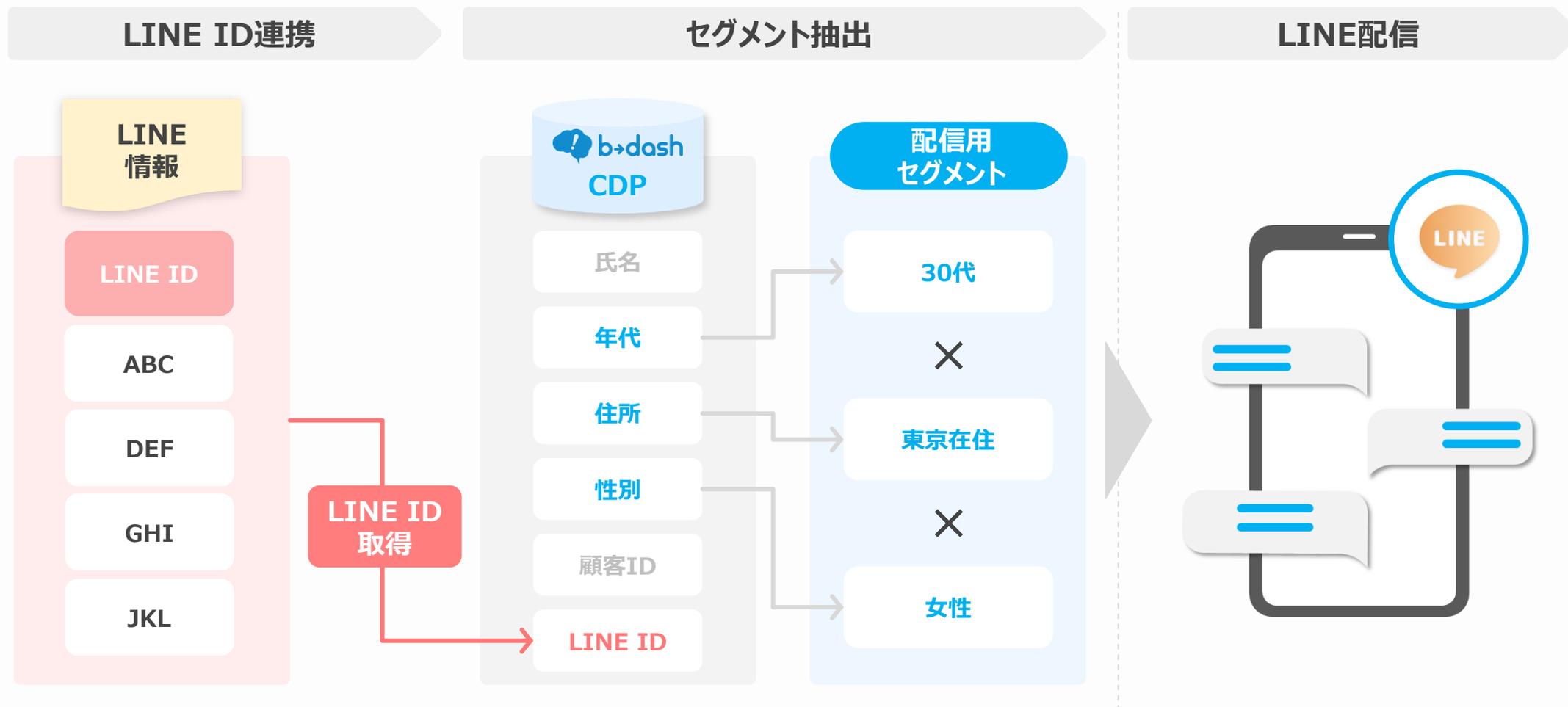


カスタマー
ウォッチ



LINE ID取得とは

LINEメッセージをセグメント配信するために、LINE IDを  **b→dash** へ連携する

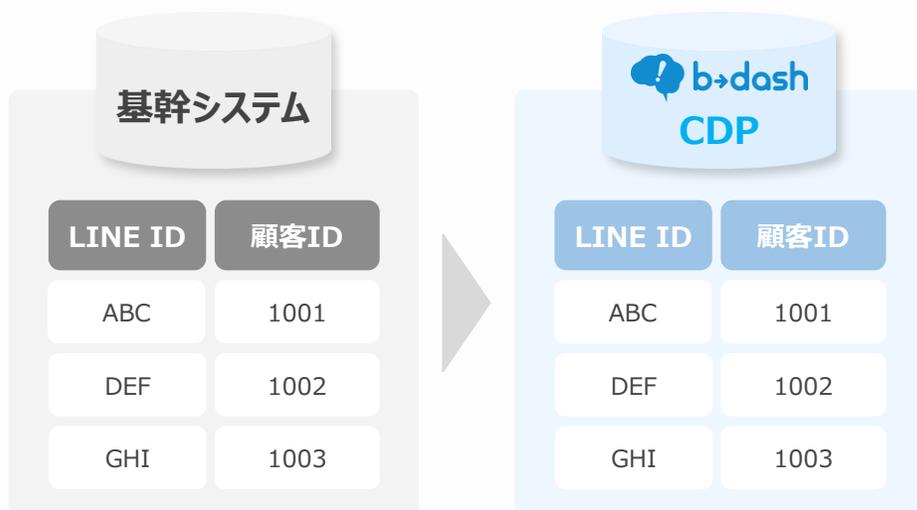


LINE ID取得方法

2つの方法で、LINE ID取得ができる

ファイル連携

LINE IDと顧客IDが紐付いているデータを
自社システムで保持している場合は、
b→dashへファイルで連携する



タグで取得

LINE IDを自社システムに
保持していない場合は、
b→dashタグで取得する

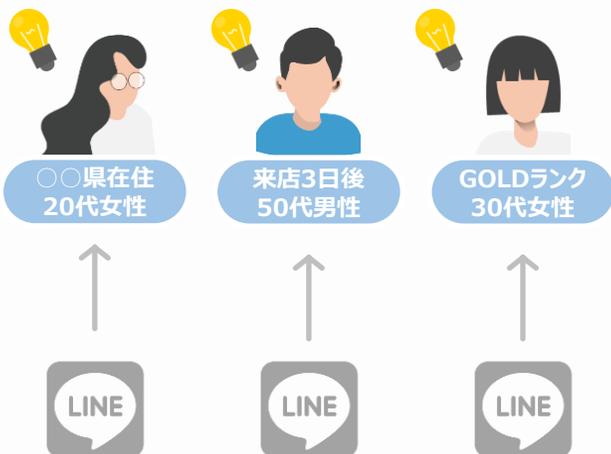


LINE連携の特徴

b→dash LINE連携の3つの特徴

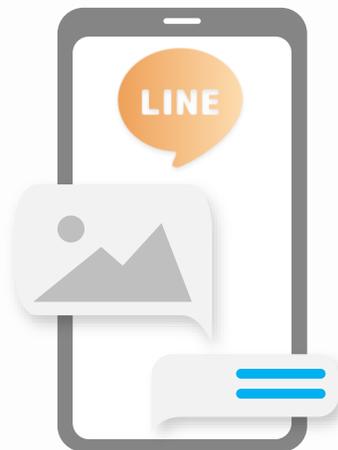
1 セグメント設定

顧客の属性や行動を基に
ターゲットを
細かく設定することができる



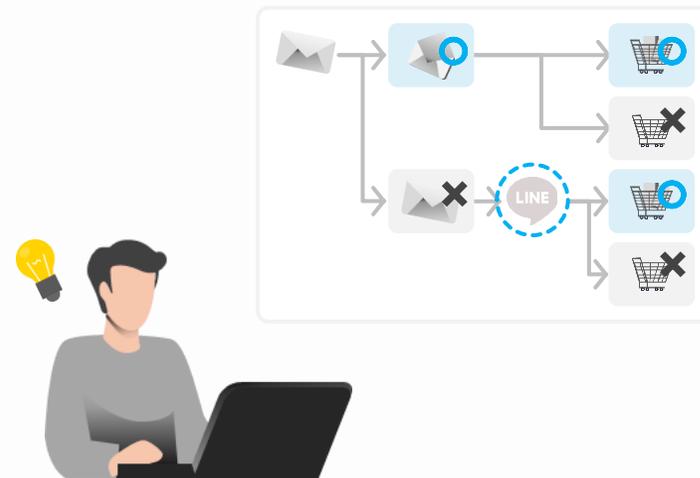
2 コンテンツ作成

画像挿入やテキストを入力し、
LINEコンテンツを
GUIで**簡単に作成**できる



3 配信設定

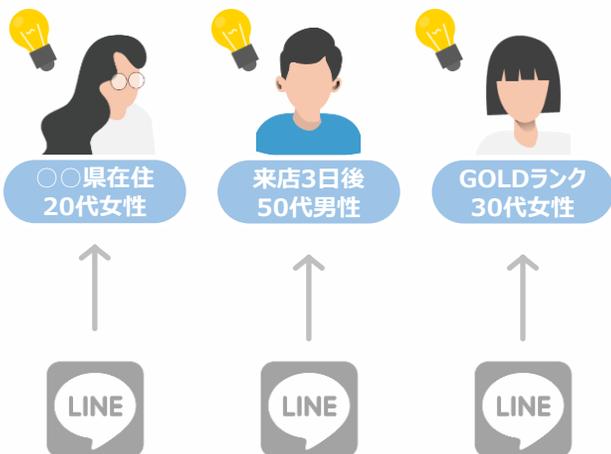
複雑なシナリオも、GUI上で
直感的に設定することができる



LINE連携の特徴

1 セグメント設定

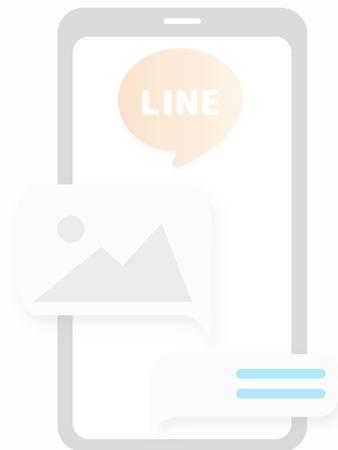
顧客の属性や行動を基に
ターゲットを
細かく設定することができる



! b→dash LINE連携の3つの特徴

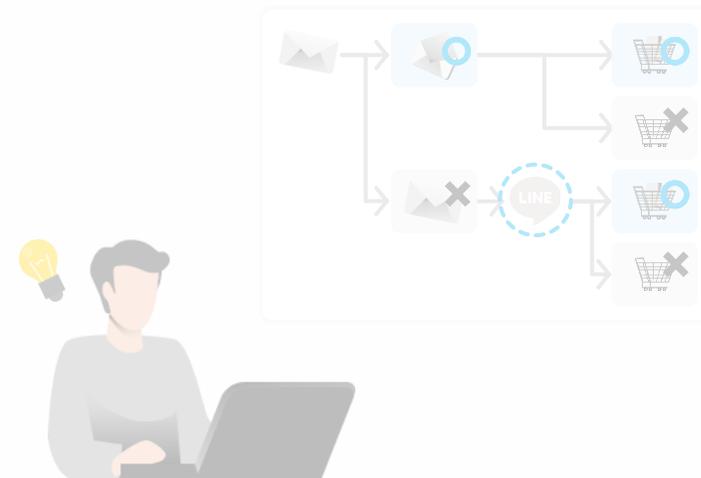
2 コンテンツ作成

画像挿入やテキストを入力し、
LINEコンテンツを
GUIで**簡単に作成**できる



3 配信設定

複雑なシナリオも、GUI上で
直感的に設定することができる



セグメント設定とは

あらゆるデータから**任意の条件を指定**して、**自由に顧客情報を抽出**する



NO	機能	機能詳細
1	セグメントの作成	<ul style="list-style-type: none">● あらゆるデータを用いて、条件に該当する顧客を抽出することができる
2	複合セグメントの作成	<ul style="list-style-type: none">● 複数のセグメントを「AND」や「OR」、「NOT」の条件で組み合わせ、新しいセグメントを作成することができる

● 機能詳細 : NO.1 セグメントの作成

機能詳細

あらゆるデータを用いて、**条件に該当する顧客を抽出**することができる

ケース

過去1万円以上購入し、直近1ヶ月以内にTシャツを閲覧した20代男性にアウターを訴求

抽出項目

20代

×

男性

×

1万円以上購入

×

Tシャツを閲覧

×

直近1ヶ月に閲覧

統合データ

顧客ID	氏名	年齢	性別	受注ID	商品名	購入金額	閲覧商品	閲覧日
1001	斉藤一郎	27	男性	1001	A	14,000	ジャケット	2024/03/01
1002	鈴木桃子	22	女性	1003	B	9,000	Tシャツ	2024/03/19
1003	山田恵美	47	男性	1004	C	7,800	Tシャツ	2021/01/03

● 参考：利用可能なデータの紹介

種類	名称	詳細
b→dashデータ	アクセスログ	webアクセスログID/ビジターID/PV/Click日時セッションID/年/月/日/曜日/時刻/国/地域/都市
	アプリアクセスログ	アプリアクセスログID/UUID/ログインユーザーID/FMC トークン/ログ発生時刻/セッションID/デバイスID/アプリIDなど
	メール行動ログ	メール行動ログID/メール配信ID/b→dash ID/顧客ID/行動日時/リンクURL/短縮URLなど
	LINE行動ログ	LINE行動ログID/LINE配信ID/b→dash ID/顧客ID/行動日時/リンクURL/短縮URLなど
	SMS行動ログ	SMS行動ログID/SMS配信ID/b→dash ID/顧客ID/行動日時/リンクURL/短縮URLなど
	Push通知行動ログ	Push通知行動ログID/Push通知配信ID/b→dash ID/顧客ID/行動日時/通知パラメータなど
	レコメンド行動ログ	レコメンド行動ログID/レコメンド施策ID/b→dash ID/顧客ID/行動日時/ページタイトル/ページURLなど
	web接客行動ログ	web接客行動ログID/web接客施策ID/顧客ID/行動日時/ページタイトル/ページURLなど
外部連携データ	マスタデータ	顧客マスタ/商品マスタなどマスタデータを自由に連携できる
	履歴データ	受注履歴データ/購買履歴データ/予約履歴データなど履歴データを自由に連携できる

etc…

● 参考：データ型ごとの抽出条件

テキスト型

- 次を含む
- 次を含まない
- 次で始まる
- 次に完全一致
- 次に完全一致しない
- 空文字
- 空文字ではない

整数型/小数型

- 次より大きい
- 以上
- 次より小さい
- 以下
- 次の値の間
- 次の値の間でない

日付型/日時型

- 次より前の日付
- 次より後の日付
- 次の日付
- 次の期間にある
- 次の期間にない
- NULL
- NULLではない

真偽値型

- true
- false
- NULL
- NULLではない

● 参考：絶対期間/相対期間

日付型/日時型のデータを抽出する際、**絶対期間**と**相対期間**で条件を設定することができる

絶対期間

具体的な日時を指定

次の期間にある

絶対期間 相対期間

開始日 2022/01/01 12:00:00

終了日 2022/01/29 12:00:00

< 2022 年 1月 >

月	火	水	木	金	土	日
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

12 : 00 : 00

相対期間

“本日”を起点とした期間を指定

次の期間にある

絶対期間 相対期間

開始日 7 日 前

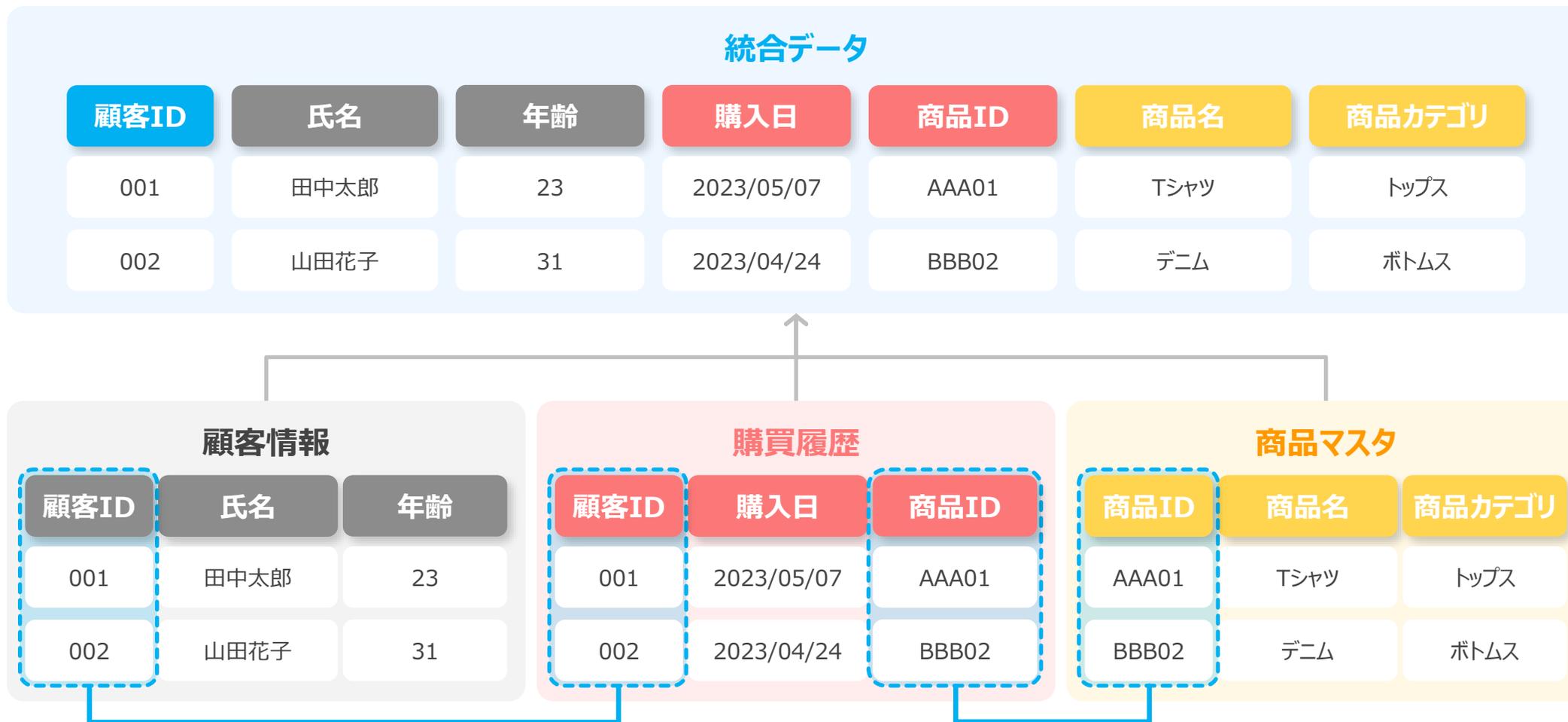
終了日 1 日 前

キャンセル 適用

ex) 『開始日：7日前』『終了日：1日前』
→本日を起点に**直近7日間**を抽出

● 参考：データ結合

データパレットを活用し、データの加工や、複数のデータファイルを統合し、セグメントに必要なカラムも作成できる



● 機能詳細 : NO.2 複合セグメントの作成

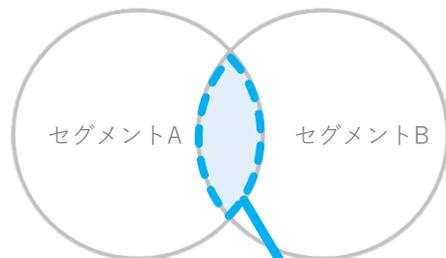
機能
詳細

複数のセグメントを「AND」や「OR」、「NOT」の条件で組み合わせ、**新しいセグメントを作成**することができる

条件
イメージ

AND条件

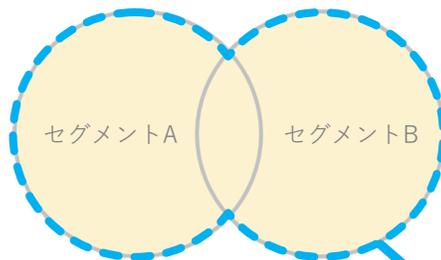
セグメントA**かつ**Bに含まれる
セグメント



配信対象セグメント

OR条件

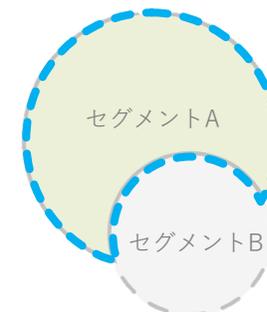
セグメントA**または**Bに
含まれるセグメントID



配信対象セグメント

NOT条件

セグメントBを**除外**して
残ったセグメントID



配信対象セグメント

● 参考：顧客IDのユニーク化

機能
詳細

セグメント抽出時に自動的に**顧客IDがユニーク**になるため**履歴データもセグメントに使用**することができる

ケース

直近1ヶ月以内に1万円以上の購入履歴がある顧客を抽出

抽出項目



セグメント

顧客ID	氏名	受注ID	最終購入日	累計購入金額
001	田中太郎	1102	2023/12/17	38,857
003	山田花子	1105	2023/12/20	31,923

購買履歴
データ

顧客ID	氏名	受注ID	購入日	購入金額
001	田中太郎	1100	2023/11/29	14,915
001	田中太郎	1101	2023/12/05	13,791
001	田中太郎	1102	2023/12/17	10,515
002	鈴木聡	1103	2023/11/26	6,747
003	山田花子	1104	2023/12/02	14,972
003	山田花子	1105	2023/12/20	CCC03

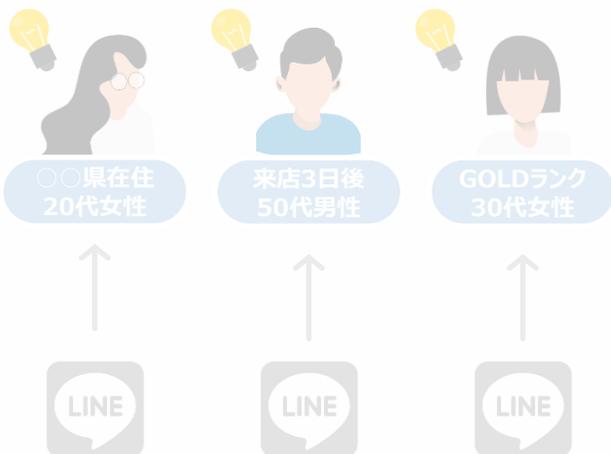
履歴データで重複している顧客IDをユニークにして抽出

LINE連携の特徴

! b→dash LINE連携の3つの特徴

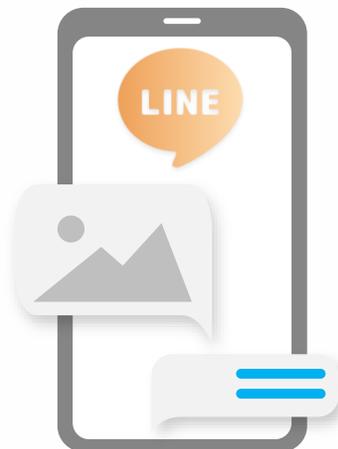
1 セグメント設定

顧客の属性や行動を基に
ターゲットを
細かく設定することができる



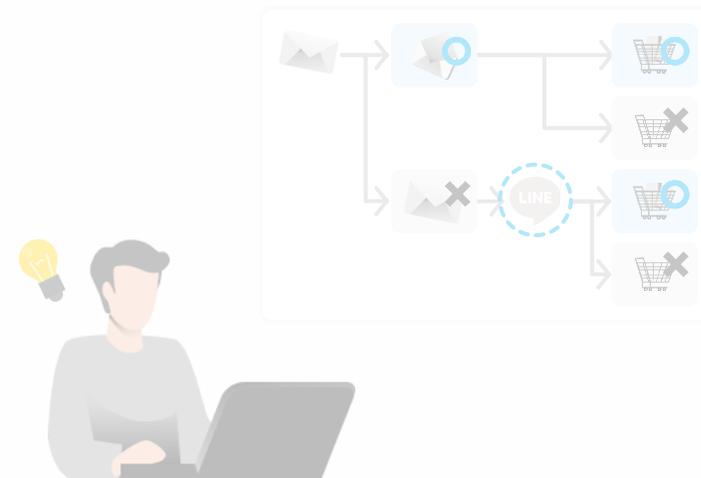
2 コンテンツ作成

画像挿入やテキストを入力し、
LINEコンテンツを
GUIで**簡単に作成**できる



3 配信設定

複雑なシナリオも、GUI上で
直感的に設定することができる



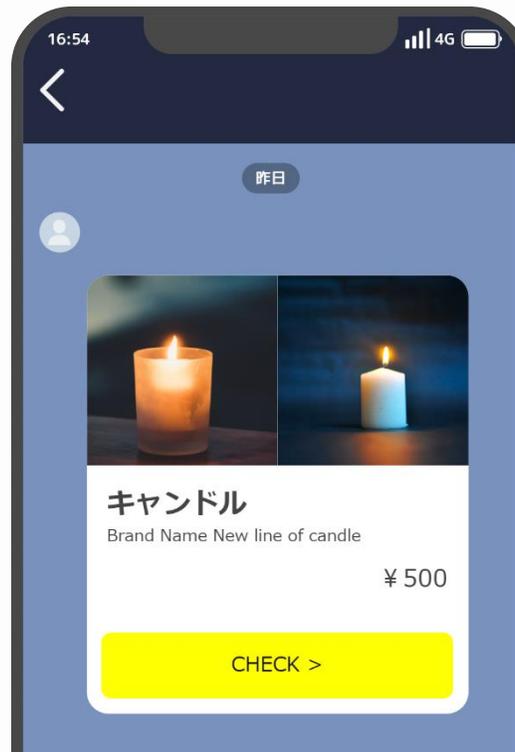
コンテンツ作成とは

画面上に表示する **LINE配信コンテンツ** を作成

メッセージ



Flex Message



リッチメニュー



NO	機能	機能詳細
1	コンテンツ作成	<ul style="list-style-type: none">● メッセージ/Flex Message/リッチメニューなどのコンテンツを作成することができる
2	テスト送信	<ul style="list-style-type: none">● 自由に送信先を設定し、テスト送信ができる
3	テストデータ設定	<ul style="list-style-type: none">● テストデータを設定し、データ挿入をした箇所にテストデータを表示させることができる
4	コンテンツの管理	<ul style="list-style-type: none">● 複製/アーカイブ機能によりコンテンツを管理できる

● 機能詳細 : NO.2 コンテンツ作成

機能
詳細

メッセージ/Flex Message/リッチメニューなどのコンテンツを作成することができる

機能
イメージ

メッセージ

LINEの吹き出しに表示される
通常のメッセージ



Flex Message

リッチなLINEコンテンツを
配信したい際に用いるメッセージ



リッチメニュー

トーク画面ごとに表示される
タイル状のメニュー



● 参考：コンテンツ作成 ～メッセージの作成～

テキストの入力や画像/リンク/データなどの挿入ができる



● 参考：メッセージに挿入できる項目

		説明
	データ挿入	顧客マスタにある あらゆるデータ を本文に挿入できる
	レコメンド挿入	レコメンドデータ を本文に挿入できる
	定型文挿入	定型文 を本文に挿入できる
	画像挿入	画像 を自由に挿入できる
	絵文字挿入	175個の絵文字 の中から自由に選択して挿入できる
	短縮URL挿入	短縮URL を本文に挿入できる ※オプション機能になります

● 参考：LINEのご活用 ～データ挿入～

氏名など、**保持するデータを自由に差し込む**ことができるため**自動化することが可能**



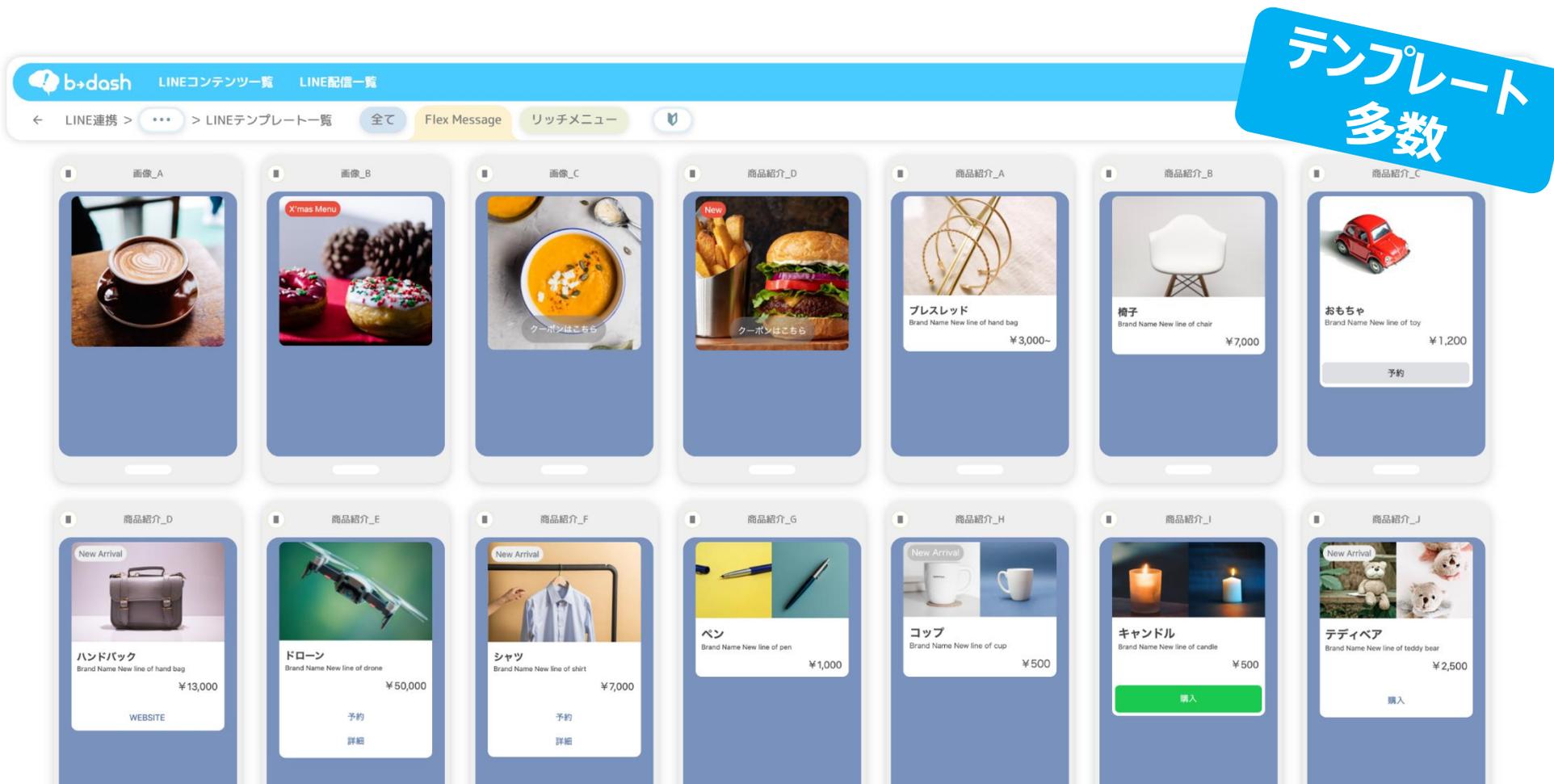
● 参考：コンテンツ作成 ～Flex Messageの作成～

選択したテンプレートをもとに、**画像**や**テキスト**、**ボタン**の編集ができる



● 参考 : Flex Messageテンプレート一覧

テンプレートを活用し、Flex Messageの内容をカスタマイズすることができる



● 参考：コンテンツ作成 ～リッチメニューの作成～

選択したテンプレートをもとに、**画像**や**遷移先URL**の設定ができる



● 機能詳細 : NO.2 テスト送信

機能
詳細

自由に**送信先**を設定し、テスト送信ができる

機能
イメージ

送信先として利用するテストデータ設定を選択してください。

項目名	データ
姓	田中
名	太郎
メールアドレス	aaa@example.com
電話番号	000-0000-0000
LINE ID	U6539b8c23fc84bb...
顧客ID	1

U6539b8c3fc84bb4b23c67bb097ecb7...

キャンセル 次へ

LINE ID: U6539b8c23fc...



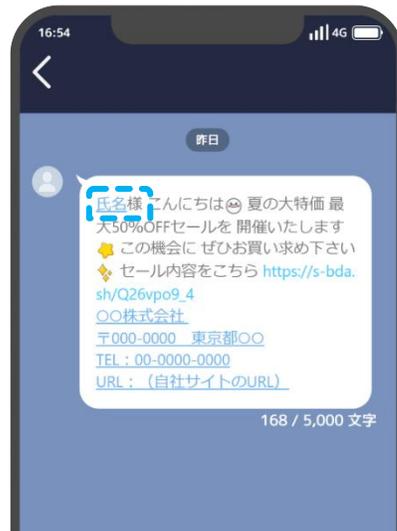
● 機能詳細 : NO.3 テストデータ設定

機能
詳細

テストデータを設定し、データ挿入をした箇所に**テストデータを表示させる**ことができる

機能
イメージ

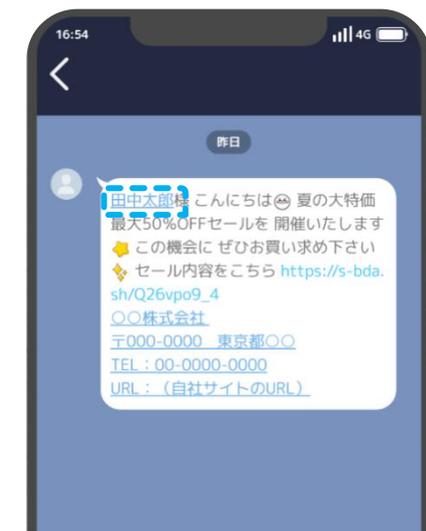
テストデータ設定前



テストデータ設定画面



テストデータ設定後



● 機能詳細 : NO.4 コンテンツの管理

機能
詳細

複製/アーカイブ機能によりコンテンツを管理できる

複製

過去に作成したコンテンツを
複製して活用できる



アーカイブ

作成したコンテンツを
アーカイブすることができる



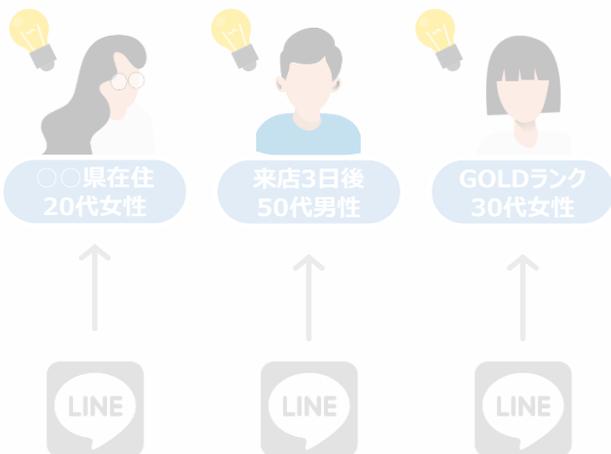
機能
イメージ

LINE連携の特徴

! b→dash LINE連携の3つの特徴

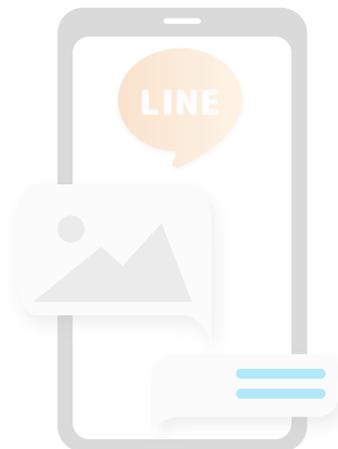
1 セグメント設定

顧客の属性や行動を基に
ターゲットを
細かく設定することができる



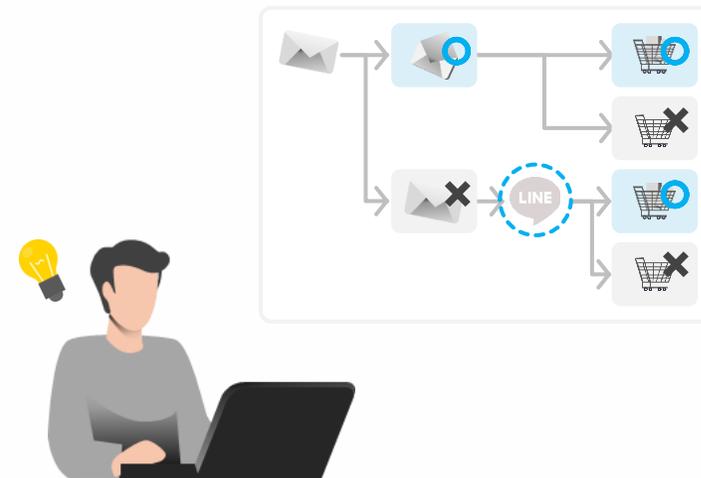
2 コンテンツ作成

画像挿入やテキストを入力し、
LINEコンテンツを
GUIで**簡単に作成**できる



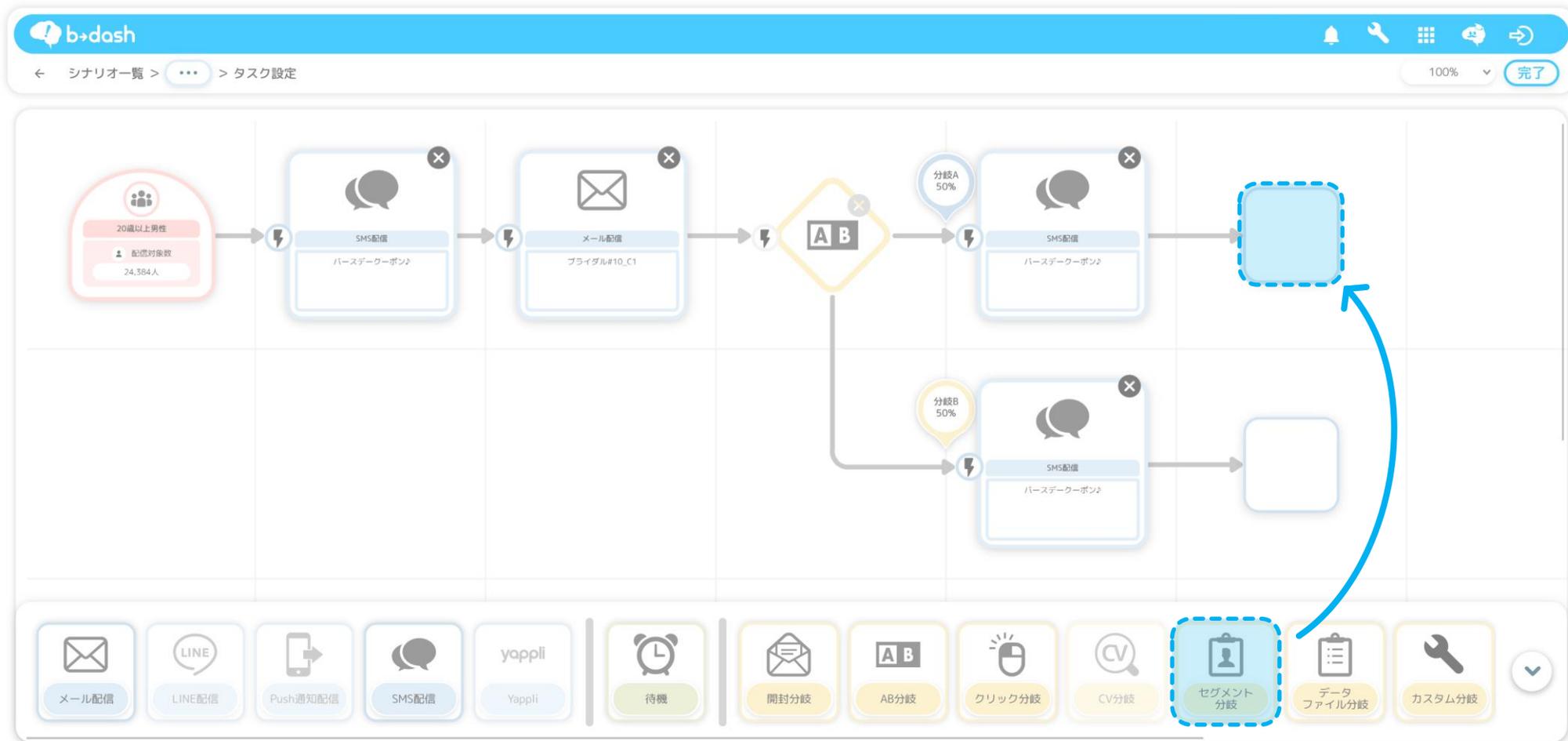
3 配信設定

複雑なシナリオも、GUI上で
直感的に設定することができる



配信設定とは

セグメントで抽出した顧客に対して、直感的な操作で**コンテンツ配信フロー**を組むことができる



NO	機能	機能詳細
1	シナリオ作成	<ul style="list-style-type: none">● シナリオ開始タイミングを決める「起動タイミング設定」とアクション、待機、分岐、合流の「タスク設定」ができる
2	クロスチャネルシナリオの設定	<ul style="list-style-type: none">● メールやLINE、SMS、Push通知といった、複数のチャネルを掛け合わせたクロスチャネルシナリオを設定できる

● 機能詳細 : NO.1 シナリオ作成

機能
詳細

シナリオ開始タイミングを決める「**起動タイミング設定**」とアクション、待機、分岐、合流の「**タスク設定**」ができる

機能
イメージ

起動タイミング設定

配信を起動する
タイミングを設定

配信の起動に関する条件を設定しましょう。

配信起動のタイミングを設定しましょう

毎月 指定

15 日 12 : 00 追加

毎月指定 15日 12:00

前回配信時以降、セグメントが更新されている場合のみ配信を行う

起動時のオプションを設定しましょう

同じ顧客に対して繰り返し配信する OFF

起動タイミングの終了日時指定 OFF

日時を選択

以降は起動しない

キャンセル 適用

タスク設定

配信コンテンツ、待機、合流、分岐など
タスクを設定



● 参考：起動タイミング設定の機能一覧

設定	種類	内容
タイミング	サイクル	<ul style="list-style-type: none">● 日次/週次/月次/間隔で、配信起動タイミングを設定
	単発	<ul style="list-style-type: none">● 配信を起動する年月日/時間を設定
	セグメント更新時	<ul style="list-style-type: none">● セグメントの更新時に、配信を起動する設定
オプション	同一顧客への 繰り返し配信有無	<ul style="list-style-type: none">● 配信済みの顧客に繰り返し配信するかを設定

● 参考：タスク設定 アクションタスク一覧

アクション名	概要
メール配信	● 「メール/MA」アプリを利用して作成したメールコンテンツを配信
LINE配信	● 「LINE連携」アプリを利用して作成したLINEコンテンツを配信
Push通知	● 「Push通知」アプリを利用して作成したPush通知コンテンツを配信
SMS配信	● 「SMS配信」アプリを利用して作成したSMSコンテンツを配信
担当者へ連絡	● シナリオが正しく動作したことを貴社のb→dashの運営担当者にメールで共有
Yappli連携	● Yappliと連携し、Push通知をYappliで配信 ※ モバイルアプリをYappliで構築されているお客様のみ可能

※ 「メール配信」「LINE配信」「Push通知」「SMS配信」を利用するにあたり、同一のコンテンツを、同シナリオで複数回利用したり、別のシナリオで流用したりすることもできる

● 参考：タスク設定 分岐タスク一覧

分岐名	概要
開封分岐	<ul style="list-style-type: none">● ターゲットに配信したメールを、メール受信者が「開封したか」「未開封か」または「そもそのメール配信が失敗したか」に応じて分岐する
AB分岐	<ul style="list-style-type: none">● ターゲットを、任意の比率に応じてランダムに振り分ける
クリック分岐	<ul style="list-style-type: none">● ターゲットが、受信したコンテンツ(メールやLINEメッセージ等)の中に記載されているURLリンクを「クリックしたかどうか」に応じて分岐する
CV分岐	<ul style="list-style-type: none">● ターゲットが、「CVに至ったかどうか」に応じて分岐する
セグメント分岐	<ul style="list-style-type: none">● ターゲットの「顧客IDが選択したセグメント内に存在するかどうか」に応じて分岐する
データファイル分岐	<ul style="list-style-type: none">● ターゲットの「顧客IDが選択したデータファイル内に存在するかどうか」に応じて分岐する
カスタム分岐	<ul style="list-style-type: none">● データファイル内の任意のカラムが、「指定した条件に一致するかどうか」に応じて分岐する

● 参考：タスク設定 その他タスク一覧

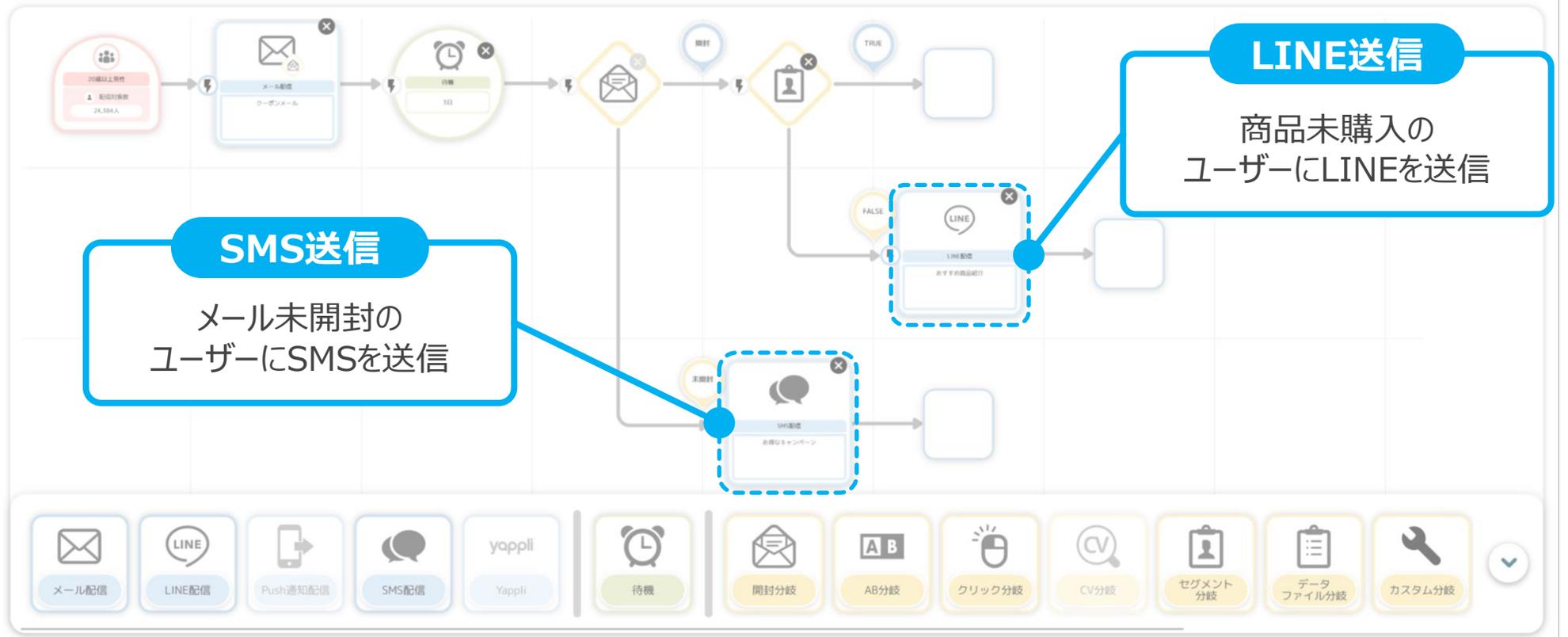
タスク	種類	内容
待機タスク	日数	● 後続のタスクに移るまでに待機する「日数」を設定する
	時間	● 後続のタスクを移るまでに待機する「時間」を設定する
	日時	● 後続のタスクに移る絶対日時を設定する
合流タスク	—	● 分岐したシナリオを合流させる

● 機能詳細 : NO.2 クロスチャネルシナリオの設定

機能
詳細

メールやLINE、SMS、Push通知といった、複数のチャネルを掛け合わせたクロスチャネルシナリオを設定できる

機能
イメージ



● 参考：その他詳細機能

NO	アクション名	概要
1	配信実績確認	<ul style="list-style-type: none">● 各施策ごとに配信実績の確認ができる
2	配信対象外設定	<ul style="list-style-type: none">● 各施策ごとに配信対象外とする顧客のリスト(データファイル)を設定できる
3	送信元設定	<ul style="list-style-type: none">● エンドユーザーに対する表示名と送信元を指定できる● 複数の送信元を登録でき、顧客側から見える表示名も登録できる
4	URLパラメータ設定	<ul style="list-style-type: none">● 登録したURLに対してb→dash上で自動でパラメータを付与できる
5	配信制御設定	<ul style="list-style-type: none">● メール/SMS/LINE/Push通知の各アプリごとに、配信不可日時/配信上限回数を設定できる

● 参考：配信実績確認

施策の実績を画面上で簡単に閲覧することができる



● 参考：配信実績確認

配信実績の詳細を画面上で簡単に閲覧することができる



● 参考：配信制御設定

メール/SMS/LINE/Push通知の各アプリごとに、**配信不可日時**/**配信上限回数**を設定できる

配信不可日時

施策の配信を行わない
日付や時間帯を設定

配信不可日時

開始 2023/08/09 14:00

終了 2023/08/09 14:30

終日 (00:00~23:59) で設定する

繰り返し設定 ?

毎日

配信不可とするアプリ

メール LINE Push通知

SMS Yappli

配信上限回数

1人の顧客に対して配信する
上限回数を設定

顧客ごとの配信上限の設定

過去 5 時間 の間で、 1 回まで配信 ?



b→dash



～ 免責事項 ～

第三者による、文書の無断転用、引用を禁止いたします。

本資料に記載している情報は、信頼できる情報ソースから取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性、網羅性を保証するものではありません。

本資料に記載している情報による意思決定は、貴社の判断及び責任において行うようお願い申し上げます。